

8月山と森林の月間協賛イベント報告

**ならやまの自然観察と自然工作
バウムクーヘンを焼こう**

奈良県の夏休みイベント『山と森林の月間』に協賛して、「ならやまの自然観察と自然工作バウムクーヘンを焼こう」を8月24日に開催しましたが、14グループ(家族)40名の親子の参加がありました。

あいにくの悪天候の中での開催で、当初参加予定の79名は半減しましたが、親子共々元気いっぱい活動に取り組みました。ただ雨模様の天候のためプログラムを短縮したり、他のものに变更せざるを得なかったこともあり、「山遊びをしたかった。」とか「山の上であそびたかった。」という率直な声もたくさん聞かれました。申し訳なく思っています。しかし、ゆったりした人数で、ゆったりとプログラムをこなすことができたのも、大きな成果ではなかったのでは、と思われました。

最初に取り組んだのは竹ポックリ作り。テントのなかで竹ポックリを作ったあとは、霧雨の中での遊び活動でしたが、みんな元気いっぱい。親子が共々声を上げながら仲良く活動するいい機会になりました。

そして昼食。手作りのジュースなども味わいながらの食事のあとは、お待ちかねのバウムクーヘン作り。これが参加者には一番の楽しみだったようで、「バウムクーヘンが作れてよかった。」「自分で焼いたバウムクーヘンは本当に美味しかった。また来たい。」との感想もたくさん寄せられています。また家で親子揃って焼いて欲しいものですね。



そして最後のプログラム、自然観察と植物を使った自然あそび。これは午前中の「自然観察、里山散策と遊びの広場」の代わりに設定したプログラムでしたが、短い時間で十分なことができるかな、といった杞憂もありましたが、意に反して大盛況。特にシダやオオバコ等を使った遊びには大人も子供も大喜び。時間いっぱいを有効に楽しく過ごせたのではないのでしょうか。急遽このプログラムの指導をお願いしたスタッフの皆さんには負担をかける結果になり心苦しく思っていますが、普段こういった活動を地道に重ねておられる経験が十分生きたようです。短い時間に内容を一生懸命考え、いかに充実した内容にするか取り組んでいただいて感謝申し上げます。



そしてこれと並行して残った時間を竹ポックリ乗り遊びに当てました。午前中の時間だけでは遊び足りなかったようです。ここでも親子一緒に楽しそうに遊ぶ姿が見えました。

それにしても悪天候の中、準備に指導にそして後片付け等にといろいろなところで頑張っていたいただいたスタッフの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。しかも43名もの手助けがあったことにびっくりいたしました。今後共宜しくお願い致します。



(八木順一)